

スタートアップマニュアル

水平 レベルセンサ (S01タイプ)

(スタートアップマニュアルは大切に保管してください。)

TS03-0047△

改訂△ 2006-12-26

作成 2006-08-02

株式会社 **ノーケン**

本社営業部 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町15-29
TEL.06-6386-8141(代) FAX.06-6386-8140

東京支店 / 〒101-0023 東京都千代田区神田佐久間河岸67
TEL.03-5835-3311(代) FAX.03-5835-3316



名古屋営業所 / 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-10-17
TEL.052-731-5751(代) FAX.052-731-5780



九州営業所 / 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2-14-1
TEL.093-521-9830(代) FAX.093-521-9834

安全にご使用いただくために必ずお読みください

- ・本スタートアップマニュアルは、一般仕様の製品について記してあります。防爆仕様製品は、別途防爆仕様の品種および形式のスタートアップマニュアルをお読みください。
- ・本スタートアップマニュアルは、表紙に記された形式の製品の正しい取り扱い、調整方法を記したものです。納品された時点で必ずお読みになり、十分内容を理解された上で製品を取り扱ってください。
- ・本スタートアップマニュアルに記載されている事項でも、別提出書類などがある場合や、弊社および弊社の代理店などから指示がある場合は、それにしたがってください。
- ・本スタートアップマニュアルは、必要時にすぐ参照できるようにしてください。
- ・製品、本スタートアップマニュアルにて不明点がございましたら、スタートアップマニュアルの表紙に記されている弊社営業窓口までお問い合わせください。
- ・本スタートアップマニュアルは、水平リボンレベルセンサを取付および結線する上で重要と思われる事項を抜粋して記載しております。詳細な説明、注意事項および保守・点検は、別紙の取扱説明書(SS02-0114)に記載していますので、併せてご参照願います。

本スタートアップマニュアルに使用されている用語の意味は、次の通りです。

 警告	もし注意を怠ると、死亡か重大災害に結びつくような潜在的危険状況を示します。
 注意	もし注意を怠ると、作業者の災害か機械の損傷に結びつくかもしれない危険状況を示します。

	禁止事項を示します。このマークのある説明文は、必ず守ってください。
	指示事項を示します。このマークのある説明文は、必ず守ってください。

1 . 主な仕様

1.1 形式

スイッチタイプ	
S01	接液部：アルミ青銅合金 フランジ：MOBREY 'A' 210 Max. 1.8MPa Max.
スイッチメカニズムの種類	
DB	2× SPST
D6B	2× SPST, 金メッキ接点
PB	DPDT
P6B	DPST, 金メッキ接点
AP	エアースイッチ
ハウジング材質	
A	アルミニウム (*: APスイッチメカニズム使用時のみ)
フロートの種類	
F84	液比重: 0.65 Min. 材質: SUS316
F185	液比重: 0.65 Min. 材質: モネル

S01 DB * / F84 形式表示

注1) 本機の周囲温度は全ての形式において、60 Max.です。

注2) 上記形式、および仕様は主なものであり、これ以外につきましては必要に応じカタログ、外形図で確認してください。

1.2 スイッチメカニズム

1.2.1 電気スイッチ

(1) 接点定格

DBタイプ	PBタイプ
440V AC 5A 2000VA	440V AC 5A 2000VA
240V DC 2A 70W(抵抗負荷)	240V DC 2A 70W(抵抗負荷)
240V DC 1A 35W(誘導負荷)	240V DC 1A 35W(誘導負荷)
	下記注意事項参照

⚠ 注意

PBおよびP6Bタイプスイッチメカニズムは金メッキ接点を使用しているため、下記定格以上で使用すると微小負荷用として使用できなくなる可能性がありますので注意してください。

300V 12mA(抵抗負荷)

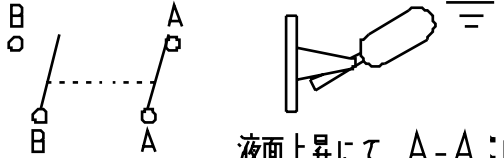
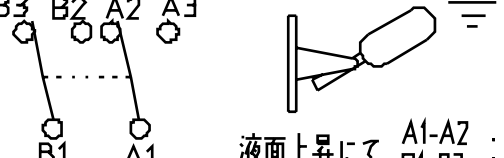

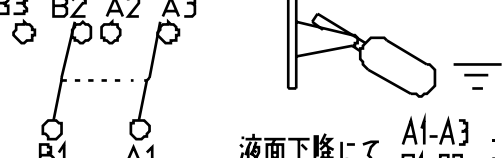
24V 2mH/200mA(誘導負荷)

24V 250mA(抵抗負荷)

24V 750mH/10mA(誘導負荷)



(2) 接点構成

DB, PBタイプ	D6B, P6Bタイプ
 <p>液面上昇にて A-A : ON</p>	 <p>液面上昇にて A1-A3 : ON B1-B3 : ON</p>
 <p>液面下降にて B-B : ON</p>	 <p>液面下降にて A1-A3 : ON B1-B2 : ON</p>

1.2.2 エアースイッチ (APタイプ)

(1) 定格

最大圧力 : 0.7MPa Max.

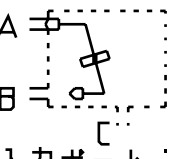
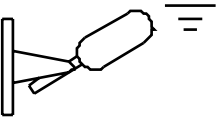
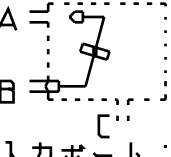
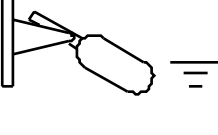
最大流量 : 66ℓ/分 Max.
(0.7MPa時)

漏れ : 0.2%

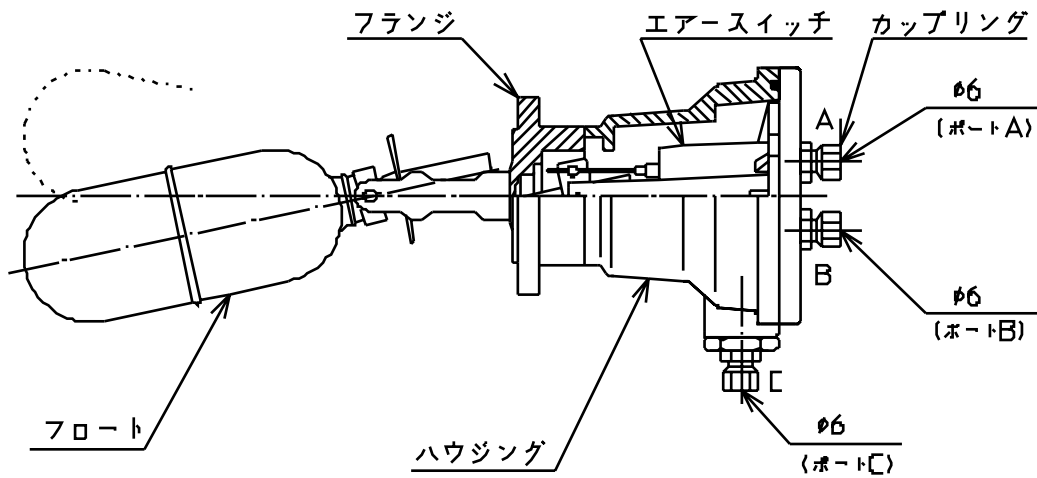
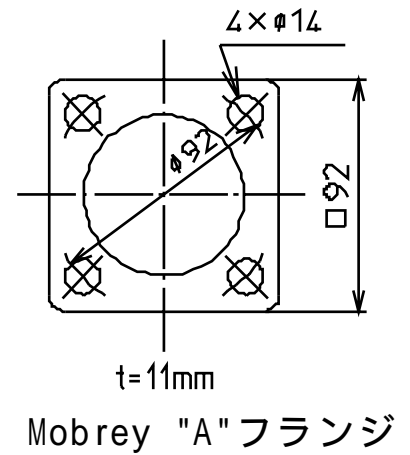
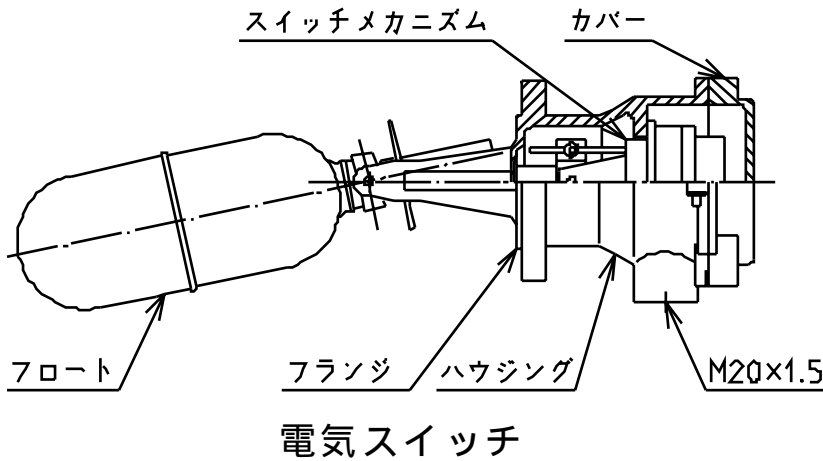
接続 : 6銅管

流体 : 乾燥エア

(2) バルブ構成

APタイプ	
 <p>入力ポート : A または B . 出力ポート : C</p>	
 <p>入力ポート : A または B . 出力ポート : C</p>	

2. 各部の名称、および構造



相フランジ側穴は内径 68mm以上としてください。

3. 据 付

3.1 センサの開梱

- 1) 梱包ケースを開け、中から機器を取り出します。この時機器の銘板を確認し、ご注文の製品であることを確認してください。異なる場合は、弊社営業窓口までご連絡ください。
- 2) 機器に損傷がないか確認してください。損傷が見られる場合は、弊社営業窓口までご連絡ください。その際、梱包ケースは破棄せずに保管しておいてください。
- 3) 機器に強い衝撃を与えないでください。落とす、投げる、ぶつける、引きずるなどは強い衝撃を与えることになります。

3.2 保管要領

製品納入後、すぐに機器を据え付けずに保管する場合および製品を取り外し保管する場合は、以下の条件を満足する状態にて保管してください。条件が満足されない場合は、製品の破損あるいは動作不良の原因になります。

3.2.1 保管場所の環境条件

- 1) 保管温度：-10～60
- 2) 保管湿度：85% Max.
- 3) 雰囲気：腐食性雰囲気でないこと
(NH₃、SO₂、CO₂などが存在しないこと)。
- 4) 振動：激しい振動がないこと。

3.2.2 保管時の処理

- 1) 機器を湿気やほこりから守るため、ポリエチレンシートなどで覆い、密封してください。
- 2) 温度変化の激しい場所では、ポリエチレンシートの中にシリカゲルなどの防湿剤などを入れてください。

3.3 センサの据付

本センサは、ハウジング側から見て電線グラウンドを下側に位置するように据え付けてください。

⚠ 注意

腐食性雰囲気(NH₃、SO₂、Cl₂など)および振動のある場所での据付は避けてください。



給排水口や、かくはん機付近などの液体の流れや、波立ちの激しい所への据付は避けてください。



タンクに据え付ける場合、付近にフロートの動作を妨げる障害物(パイプ配管など)が無い場所に据え付けてください。



強磁性体(モータ、電磁弁など)付近への据付は避けてください。



据付の際、フロートを落としたり、ぶつけないでください。破損する可能性があります。



4 . 配 線

4.1 電気スイッチ

'1.2.1(2)接点構成'を参照の上、スイッチメカニズム上の端子へ端子ビスの緩みなどが無いよう確実に結線してください。

⚠ 注意

スイッチメカニズムの接点は、定格以上の負荷で使用されますと溶着・溶断などの接点不良を生じますので注意してください。特にPタイプ(金メッキ接点)は定格が小さいので注意してください。



ハウジング表面は使用温度近くになることがありますので、使用温度が高い場合には適切な耐熱用ケーブルを使用してください。



負荷にモータを使用される場合は、負荷とスイッチの間にリレーを挿入して個々にヒューズを設けることをお勧めします。



4.2 エアースイッチ (APタイプ)

'1.2.2(2)接点構成'を参照の上、ハウジング上の各ポートのカップリングへ 6配管を接続してください。

⚠ 注意

エアースイッチタイプAPは入力ポートA、またはBのどちらか一方にエアーを供給し、他方は排気ポートとして密封しないでください。



ポートCは必ず出力用ポートとし、入力用ポートとして使用しないでください。



5 . ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ

故障の状態	主な原因	処置方法
測定液が検出レベルを超えているにも関わらず、スイッチの接点がONしない。	結線ミス	正しく結線をして下さい。
	フロートの破損	シャフト付フロートを交換して下さい。 1
	スイッチメカニズムの破損	スイッチメカニズムを交換して下さい。 2
	付着物が付いている	付着物を取り除いて下さい。
測定液が検出レベルを下回っているにも関わらず、スイッチの接点がONしない。	結線ミス	正しく結線をして下さい。
	スイッチメカニズムの破損	スイッチメカニズムを交換して下さい。 2
	付着物が付いている	付着物を取り除いて下さい。

- 1：フロート材質が測定液に耐えない可能性があります。測定液の成分を調査して下さい。
- 2：誤配線等により過電流が流れてスイッチメカニズムが破損した可能性があります。結線等を再調査して下さい。